

伊勢崎市立第三中学校

第1学年通信

令和5年12月20日(水)

第39号



銘仙教室、伊勢崎の素晴らしい魅力がわかったね

15日(金)杉原みち子様を講師にお迎えして、『銘仙教室』が開かれました。実際に銘仙を着させていただき楽しくファッションショーをさせてもらい、伊勢崎の素晴らしい魅力をたくさん知ることができました。みなさんには、伊勢崎のことを誇りに思い、よき文化を受け継ぎながら、志を持って未来を切り拓いていってほしいと思います。



銘仙教室の感想を紹介

羽織を着る機会が今まで無かったので、とても楽しい体験になりました。羽織でも、様々な模様や色があざやかでとても興味がひかれました。模様の作り方によって名前が違うのも驚きでしたし、糸の染め方もテープのようなものをつけるなどの工夫もされていて面白いと思いました。私たちが今日着た、色あざやかで素敵な着物も、人が手間をかけて作ったのだと思うと「すごいな」と思います。先生のおかげで、羽織の歴史や、詳しいことを知ることが出来ました。(1年1組 松本 深来)

伊勢崎は日本で一番銘仙が作られていることが分かりとても驚きました。銘仙にあまり蚕は使われていないと思っていたけれど、実際は2400~2500個も使う事が分かり凄いなと思いました。ファッションショーで一年生のみんなが楽しく着こなしていたり派手な着こなしをしていた人もいてとても楽しい時間になりました。銘仙が世界中に知れ渡り、人気になって欲しいと感じました。(1年2組 佐藤 りあ)

杉原さんはとてもお話がお上手で聞いていてとても楽しかったです。分かりやすい説明で、クイズを出したり、2兆円の例をだして分かりやすく教えていただけるととても勉強になりました。阿久澤さんの着付けた着物はとても光輝いていて、とても素敵だと思いました。ファッションショーもみんな輝いていてとてもおもしろかったです。今回はありがとうございました。(1年3組 高橋 海李)

羽織を実際に着てみたら、とても軽く、でもあたたかく、デザインも豊富で髪かざりなどとも合わせやすかったです。ファッションショーをして、みんな個性的でおもしろく、でもその奥には必ず「美」があって、楽しく過ごせました。伊勢崎の歴史や良さを教えてくださり、ありがとうございました。(1年5組 新井 希々)

この話を聞く前は、興味は全然ありませんでしたけど話を聞いた後、伊勢崎銘仙に興味をもつことができました。そして映像を見てやはり銘仙をつくるには、たくさんの時間がかかることが分かりました。そして、へいようがすりは伊勢崎でしか作れないと聞いて伊勢崎のすごさが分かりました。また、カイコをみてこれが役に立っていること知ってカイコの良さも分かりました。(1年6組 風間 愛玖)